

あなたをやさしくエスコートする…

カワムラサイクル



折りたたみ歩行器 KW16(B)

取扱説明書



安全に関するご注意	1
1.各部名称	2
2.仕様	2
3.操作方法および使用方法	3
4.歩行器の保守・点検	4
5. 保証	4

このたびはカワムラサイクルの歩行器をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法
が記載されています。

※ ご使用になる前に必ずお読みください。また、お読みになった後は大切に保管してください。



株式会社**カワムラサイクル**

安全に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

⊘ 禁 止

- この製品は、室内専用歩行器ですので屋外では使用しないでください。また、屋内で使用する場合でも溝、段差、傾斜などがある場所では使用しないでください。
- 屋外に放置すると、サビなどにより製品が劣化します。保管は屋内でおこなってください。

⚠ 警 告

- 歩行器を火気に近付けないでください。
※ シート部が燃えたり、熱くなった金属部分でやけどするなど、危険です。



- 勝手に改造・分解しないでください。強度や耐久性が劣化して危険です。（保証対象外）

⚠ 注 意

- 肘受けの上下調整用ノブネジは、確実に締め付けてあるか必ず確認してください。
- 歩行器を投げたり落したり、衝撃を加えないでください。
- 痴呆症の方の場合は、歩行器の肘受け部、部品等を飲み込むことが考えられますので充分ご注意ください。
- 回転している車輪に指を差し込まないように注意してください。

1.各部名称



<折りたたみ時.>

- | | |
|------------|--|
| ①肘受け（可動部） | 肘を置くところです。 |
| ②肘受け（固定部） | 肘を置くところです。 |
| ③固定レバー | 広げたり、折りたたんだりするときに使用します。 |
| ④調節ノブネジ | 肘受けの高さを調節するネジです。 |
| ⑤キャスタ（回旋式） | 自在に方向転換できる小車輪です。 |
| ⑥キャスタ（固定式） | 回旋しない車輪です。横歩きを防止します。
KW16(B)の場合、後輪二輪が抵抗器付車輪になります。 |

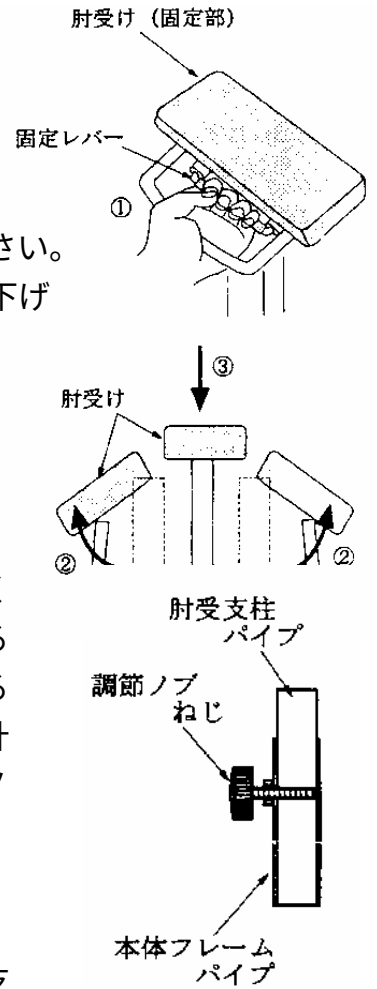
2.仕 様

品名・名称	標準仕様・規格
	KW16
材質（本体）	スチール製
（肘受け）	ビニール製
前車輪	φ100mm 回旋式
後車輪	φ100mm 固定式・φ100mm 回旋式
全高 (mm)	865～1,040（ピッチ25）
全長 (mm)	850
全幅 (mm)	680
肘受け内幅 (mm)	375×485
折りたたみ時の幅 (mm)	350
重量 (kg)	12

3.各部の使用操作方法および操作方法

歩行器の拡げ方

- ① 片方の手で固定レバーを握って手前に引きロックを解除して、もう一方の手で片方の肘受けを持って外側へ拡げながら上に持ち上げ拡げます。同じようにして反対側の肘受けも拡げてください。
- ② 固定レバーを握って手前に引き、肘受けの固定部（中央）押し下げ左右の肘受けと水平になるようにします。
- ③ 固定レバーを離し肘受けを固定します。左右の肘受けが固定レバーで固定されていることを確認してから使用してください。

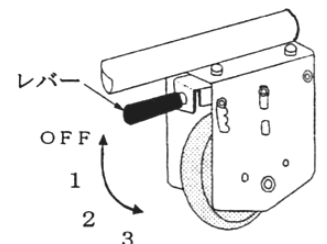


高さの調節の仕方

- ① 高さはあまり高くして全体重をかけるよりも、肘を自然に置くくらいのほうがスムーズに歩くことが出来ますが、指導される先生などの指示に従ってください。あらかじめ実際に使用する人の床から肘から肘までの高さ（または指示された高さ）を計っておき、調節ノブねじを緩め肘受けを上下に動かして調節ノブねじで固定します。
※ 肘受けパイプを本体フレームから引き抜かないようにしてください。抜いてしまうと組立が難しくなります。
- ② 固定するとき、調節ノブねじの先端が支柱の穴にくるように支柱の位置を合わせて、調節ノブねじの先端が支柱パイプの穴に入るように締めつけます。調節ノブねじの先端が確実に支柱パイプに入っていないと、肘受けに体重をかけたときに肘受けが下がり危険です。調節ノブねじが支柱パイプの穴に入っていることを確認し、十分に締め付けてください。高さ調節は3カ所の調節ノブねじで行いますが3カ所とも同じ位置にしてください。
※ 高さ調節の位置が異なっていると、歩行器が折りたためなくなります。

折りたたみ方 拡げ方の逆の手順になります。

- ① 歩行器の前方より固定レバーを握って手前に引き、ロックを解除します。
 - ② 固定レバーを握っている側の手で歩行器を少し持ち上げ、片方の肘受けを下方に押し下げ折りたたみます。もう一方の肘受けも同様にして折りたたんでください。
- ※肘受けパイプを本体フレームから引き抜かない様にしてください。抜いてしまうと組立が難しくなります。



後輪抵抗器の調節（KW16Bのみ）

- ・レバー操作で、4段階に調節できます。数字の多き位置にするほど、抵抗は強くなります。
 - ・レバー位置はカチッと入る位置にセットし、左右同じ位置でしようしてください。
- ※抵抗器の強さが左右異なっていると、真っ直ぐに動かなくなります。

4.歩行器の保守、点検

安全にお使いいただくためには、日頃のお手入れと点検整備が必要です。

★金属部分は汚れていませんか？

金属部分は汚れを落とし、防錆系洗剤・シンナー・クレゾールなどを含ませた布で拭きあげますと光沢が長持ちし、錆を防げます。

★肘受けは汚れていませんか？

肘受けの汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤をスポンジに含ませ汚れを拭き取った後、乾いた布で拭き取ってください。塩素系洗剤・シンナー・クレゾールなどは絶対に使用しないでください。

★ネジの緩みはありませんか？

ガタがある場合は、ネジの緩みや脱落が考えられます。ネジが緩んでいたら必ずしっかりと締めてください。締めてもすぐ緩む、締まらないなどの不具合があれば、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い上げの販売店か弊社までご連絡ください。

★雨、ほこりが付かないように室内に保管してください。

★四点接地していますか？

前輪二輪と後輪二輪が接地しているかご確認ください。四点接地していない場合、フレームの歪みやネジの緩みが考えられます。

異常が見つかったらご使用を中止してください。

5.保証とアフターサービス

★保証書

この商品には保証書を別途添付しております。保証書は所定の事項を記入のうえ、商品購入後 1 ヶ月以内に弊社へご返送ください。

保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

★補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの商品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5 年保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

★修理のご依頼

異常がある場合は、ご使用を中止しお買い上げの販売店にご依頼ください。

★保証期間後

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

★保証の適用除外となる場合

(a) ご使用による消耗品および取扱不注意による破損

例) タイヤの磨耗およびパンク、シート、フットプレートの破損等

(b) 地震、台風、水害などの天災および事故、火災による焼失・破損

(c) お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失など誤って使用されたことによる破損

(d) 保全上の不備および弊社の特約販売店以外で行った修理や改造等による破損

(e) 弊社が指定する純正部品以外のパーツ等の使用により発生した破損

地球の環境保護のため、
廃棄するときはそのまま放置しないで
各自治体の取り決めにしたがってください。



■本社	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地3-9-1	TEL078-969-2800
■本店サービスセンター	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地3-9-1	TEL078-969-2820
■さいたまサービスセンター	〒338-0002	さいたま市中央区下落合7-11-2	TEL048-832-0168
■東京サービスセンター	〒110-0013	東京都台東区入谷1-8-3	TEL03-3874-3511
■横浜サービスセンター	〒220-0073	横浜市西区岡野2-12-9	TEL045-290-9585
■名古屋サービスセンター	〒487-0027	愛知県春日井市松本町1-3-11	TEL0568-52-4800
■大阪サービスセンター	〒564-0044	大阪府吹田市南金田2-20-10	TEL06-6190-8488
■福岡サービスセンター	〒819-0055	福岡市西区生の松原1-18-3	TEL092-882-4722
■神戸工場	■神戸第二工場	■いなみの工場	■メンテナンスセンター

修理・お手入れ・お取扱いなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、上記へ。